

わくわく通信

2011年
3月号
Vol.36

子育て支援センター
わくわく館
電話 2-3048

節分の会 平成23年2月3日(木曜日)

年が明けて初めてのイベントは、春の到来を招く行事『節分の会』でした。今回は42組95名の参加者が集まり、歌をうたったりゲームをしたりして楽しみました。手遊びの「オニのパンツ」は少し難しかったけど、小さい子も忙しく手を動かして一緒に楽しみましたね。節分クイズで節分の豆知識をお勉強した後は、「色々どんなオニ？」と言う簡単なゲームで体を動かしました。音楽に合わせたゲームで楽しく体を動かした後は、節分に欠かしてはいけない「オニ退治」です。赤・青・黄色・緑の4体のダンボールでできたオニを、ボールプールのボールをぶつけて退治します。わりとすぐオニを倒したグループが、なかなか倒せないグループの手助けに行ったりして、みんなで力を合わせて一生懸命倒しましたね。見事オニを倒した後は、館長扮する福の神が来て「福拾い」をしました。「ふくは～うち～！」と言いながら撒かれる「福」はみんなが大好きなお菓子です。大きい子は自分で、小さい子はお母さんが代わりに拾っていました。頑張って拾ったお菓子は、1月から作っていた自分用の手提げ袋に入れました。さて、袋はお菓子でいっぱいになりましたか？今回の節分の会に当たって、ビーンズママの皆さんにたくさんのお手伝いをいただきました。ビーンズママの皆さん、いつもありがとうございます。



子育て講座「おもちゃであそぼう！」平成23年2月15日(火曜日)

今月の子育て講座は、皆さんお馴染みの菊地亮子先生を講師としてお招きして、「あそびの大切さ」や「いいおもちゃの選び方」のお話と、実際にいいおもちゃで遊んでみるという楽しい講座を開きました。子供の発達に沿った遊び方・おもちゃの使い方などの基本的な事のお話から始まりました。たっぷり2時間の講座の中で「お母さんやお父さんが一緒に遊んであげることが大切。どんなにいいおもちゃを使っても、ただぼんと渡すだけでは子供は遊び始めない」「いいおもちゃは大人があそんでも本気で面白い」ということを、実践を通して教えていただきました。

また、子供の描画(お絵かき)に関してのお話では「大人がお手本を描いてしまうと、子供は大人のように上手く描けない事にコンプレックスを持ってしまう」など、大人がついしてしまいがちな間違いと、なぜしない方がいいのかについても、非常にわかりやすく説明していただきました。



～ 3月の子育て講座～

3月1日(火曜日) 『絵本について』 講師 札幌第一子どものもしゅ 藤田春義さん

開場 9:30 開始 10:00 託児あり(先着順20名)

お母さんの膝の上、優しい声で絵本を読んでもらうのって、子供はとっても幸せな気持ちになるんですよ